

第2回南知多町総合計画評価委員会 議事概要

日時 令和4年8月2日(火)
13:30～16:30
場所 南知多町役場大会議室

出席委員 別紙名簿のとおり

委員長	千頭 聡	日本福祉大学 国際福祉開発学部教授
副委員長	酒井 友之	商工会代表

傍聴席

1人

議事次第

あいさつ

- 1 評価委員会について
- 2 委員長、副委員長の選任
- 3 前回評価結果について
- 4 町民による評価

議 題

- (1) 第7次南知多町総合計画評価委員会の進め方(資料2)
- (2) 第2期アクションプラン(案)の説明(資料3、4、5、6、7)
- (3) 基本施策の評価(グループワーク)について(資料3、4、5、6、7)
- (4) 評価結果(発表及びまとめ・講評)について(資料7)
- 5 その他

開会（司会：企画財政課長）

あいさつ（町長：石黒 和彦）

今回で2回目になる。第7次総合計画前期の2年目になるということで、この評価委員会を価値のあるものにしていこうと考えている。この評価委員会そのものが進化していかないといけない、皆様にとって重荷になっていくような評価委員会であってはいけないと思っている。一回、一回を大切にしながら、より良い評価委員会になるよう努力していくのでご協力のほどよろしくお願ひしたい。

委員の委嘱・委員及び職員照会について

（司会：企画財政課長）

委嘱通知は新型コロナウイルス感染症予防のため、受付にて当日資料と共に配布した。

委員及び職員の紹介についても配布した「委員名簿」及び「グループ名簿」で代えさせていただきます。

1 評価委員会について

（司会：企画財政課長）

資料1の南知多町総合計画評価委員会設置要綱により説明。

- ・第1条により、評価委員会を設置する。
- ・第3条により、モニターはじめ23名の委員に依頼した。
- ・第4条により、任期は4年以内とする。
- ・第5条により、委員長及び副委員長を置く。
- ・第6条により、評価委員会は町長が招集し、半数以上委員の出席により開催する。
- ・評価委員会は、原則公開とする。

2 委員長、副委員長の選任

（司会：企画財政課長）

委員の互選により、千頭聡委員が委員長となる。

委員長あいさつ（委員長：千頭 聡）

日本福祉大学の千頭（ちかみ）です。昨年に引き続き務めさせていただきたい。町長のあいさつにもあったように、評価をしていくことはすごく大事ですが、下手をすると形式的なことになるので、身のあるものに皆さんと一緒にしていきたいと思っているため、よろしくお願ひしたい。

（司会：企画財政課長）

千頭委員長の指名により、酒井友之委員が副委員長となる。

3 前回評価委員会の結果について

(司会：企画財政課長)

第1回評価委員会の結果については、町公式ホームページに掲載。評価委員会全体の議事録、各グループの記録書まとめ、評価委員会意見に対する回答、参加者アンケートを掲載している。

第2回の評価委員会についても同じように、結果の掲載する予定である。

町民意識調査の自由意見に対する回答についても、同じくホームページ上で公開している。

4 町民による評価

(司会：企画財政課長)

要綱の規定により、以降の議事の進行は委員長にお願いしたい。

(委員長：千頭 聡)

昨年度はグループで3施策評価して大変だったが、今年は1グループ1施策となったため、ゆっくりと議論ができるのではないかと考えている。

議題（1）第7次南知多町総合計画評価委員会の進め方

【事務局の主な説明】

資料2「南知多町総合計画評価委員会実践マニュアル」に沿って要点を簡潔に説明。

- ・評価委員会は、地域やまちをより良いものにするため、行政と町民が意見交換を行う。
- ・アクションプランの内容、具体的には、グループワークで各担当より説明する実施計画書や事業評価書の内容が町民ニーズに合っているかなど、意見交換を行い、評価を行う。
- ・当日の流れは、事務局からのアクションプラン全体の説明が20分、その後、グループごとに会議室を移動し、各施策の評価、グループワークで意見交換が75分とし、グループワークの結果を発表する。最後に、委員長にまとめ・講評をいただいて評価委員会を終了とする。
- ・意見交換はグループワークで行い、21の基本施策のうち、1グループ1施策を担当。
- ・各グループの進行役、記録、タイムキーパー、評価結果の発表は全て町職員が行う。
- ・いろいろな立場、考え方の人が集まり、意見交換を行うため、協力して新たな発見や共通の方向性を見出す場としたい。
- ・役場の取組みに対して、こうしたらもっと良くなるなどの提案やアイデアをいただけるとありがたい。
- ・この事業をやってほしいとか予算をつけてほしいとか、個別具体的な要望をお聞き

する場ではないのでご理解いただきたい。

- ・施策の評価は、委員の主観が良い。

(2) 第2期アクションプラン(案)の説明

【事務局の主な説明】

(資料3について)

- ・アクションプランの構成を説明。
- ・第1章はアクションプランの導入部分であり、総合計画の目標指標(KGI)、管理指標(KPI)の推移をまとめたもの。
- ・第2章は実施計画書(重点政策に基づく主要事業)がアクションプランの核となる部分で、翌年度以降3年間の事業計画となる。
- ・第3章は業務改善推進計画書(業務改善の取組)は、予算を伴わない日々の業務改善の取組で令和6年度までの推進計画。第2章、第3章がアクションプランの計画部分。
- ・第4章は事業評価書(予算科目ごとの事業評価)は、個々の予算事業のPDCAサイクルを実践し、成果の向上と事業の効率化を図ろうとするもの。
- ・第5章は施策評価書(基本目標・基本施策の進行管理)は、町民による評価のしくみとしてモニター制の町民意識調査による満足度を数値化して、定量分析を行っている。また、数値で測ることのできないニーズについて自由意見などをもとに定性分析を行っている。
- ・資料編(財政計画表、町民意識調査結果、職員意識調査結果)は、町HPの公開のみ。
- ・全体説明では、目標指標(KGI)と管理指標(KPI)の推移及び結果に対する事務局の考察を説明した。
- ・基本施策のKPIについては、1-1、2-3、2-4は大きく下がっています。2-3、2-4はコロナの影響かと思われるが、1-1は、事務局でもまだ分析できていない状況であるため、この評価委員会の結果も踏まえて、モニター調査について詳しく分析していく。
- ・行財政マネジメントのKPIについては、4施策中、3施策で上昇し、1施策で下降した。役場内部の様々な業務改善の取組みにより、職員の実感度は上がってきていると感じている。

(資料5について)

- ・資料5の実実施計画書まとめは、第2章をまとめた資料で、重点政策に基づく主要事業として53事業選定している。

(資料6について)

- ・資料6は、第3章をまとめた資料。

(資料編について)

- ・一般会計財政計画は、歳入の見込みをベースにしたもの。実施計画として歳出を積み

上げた金額とは乖離しており、実施計画の合計、歳出が上回っている。

(その他)

- ・評価委員会の意見を踏まえて、各課室は実施計画の内容を精査していく。
- ・町長ヒアリングで最終調整を行ったあと、公表したアクションプランに基づいて、各課室は予算要求をしていく。

(委員長 千頭 聡)

基本施策の KPI では、1－1 地域で大切にする子育て環境については、昨年度、今年度も下がっており気になるところである。何か意見はないか。

(秦委員)

子育てをする者として、働きながら子育てをすることの大変さを実感している。周りの親御さんたちをみていると、働きながら子育てをしている環境は多様であり、困っている意見を聞いていても個別な意見が多く、子育て世代の母親として一括りにはできないと感じた。どうサポートしてもらえると助かるのかを、当事者の声を聞かないと理由等は見えてこないと感じた。

(岩尾委員)

2021 年 4 月から 2022 年の 3 月までの町の住民統計を見ると、男性は 264 名、女性は 480 名、98 世帯が減っている。それだけの家庭が町を出ていっている。または、死亡等との原因はあるかと思うが、ここの部分を分析して欲しい。数字の部分でみると、計画に沿って出生数を維持していくにも、現実を問題視して、減っている部分を分析していかないと相反することになる。なぜ減ったのかの理由を資料としてつけて欲しい。

(委員長 千頭 聡)

人口減少は、一つの要因だけではない。行政として、人口減少の要因分析は必要であるが、皆さんも町民として、人口減少に対する意見を出していただきたい。

(3) 基本施策の評価（グループワーク）について

【事務局の主な説明】

- ・各グループで会議室を設定しているので移動をお願いしたい。
- ・グループワークの時間は 75 分で設定しているが、休憩・移動も含めて 75 分。
- ・次の議題の発表が 15 時 20 分に開始できるように集合していただきたい。
- ・移動場所が分からない場合は事務局まで。

(委員長：千頭 聡)

- ・適宜水分もとりながら意見交換をお願いしたい。

(11グループでそれぞれ会議室に分かれて、基本施策の評価を実施。14:05～15:20)

※結果は、グループワーク記録書及びグループワークまとめ（発表用資料）のとおり。

【Aグループ】 1－1 地域で大切にすること子育て環境

【Bグループ】 1－5 安心して住み続けられる長寿社会

【Cグループ】 1－7 郷土愛、つながりを育む文化・スポーツ

【Dグループ】 2－5 新たなチャレンジを創る起業支援

【Eグループ】 2－3 新たな魅力や価値を生み出す商工業

【Fグループ】 3－4 安心な暮らしを支えるインフラ

【Gグループ】 3－1 まちと命を守る防災

【Wグループ】 4－1 職員の成長とやりがい

【Xグループ】 4－2 業務の高度化、効率化

【Yグループ】 4－3 町民の満足度向上

【Zグループ】 4－4 持続可能な行財政運営

(4) 評価結果（発表及びまとめ・講評）について

【事務局説明】

グループワークでの意見交換結果を1グループ3分以内で発表。

(各グループ発表用資料と意見交換結果は町HPで別に公表する)

(委員長：千頭 聡)

- ・共通点としては、「広報・PR」。行政の施策の意義が伝わっていない、住民からすると理解できていないというギャップがある。
- ・お金の使い方について、それぞれの事業で使っている費用については、積極的に出していった方がいい。行政にまかせろという時代ではない。

- ・評価委員の皆さまが、自身の経験から熱心にすごくいろいろな意見を出してもらっていたことが良かった。
- ・普段のコミュニケーション、情報の吸い上げ方や伝え方が拡充するとさらにいいと思う。これからはそのための多様なチャンネルを拡充することが重要。
- ・複数のところでふるさと納税が出ていたが、入ってくる金額は公表するが、出ていく金額は公表されない。出ていく分を減らすことの議論はどこにも出ていない。難しい課題ではあるが、行政に対する信頼が高まればが出ていく方にも反映されるかもしれない。
- ・11のグループが別々の部屋で評価をし、この75分の議論がすぐまとめとなり一覧となって発表できるこのデジタル化の技術については行政側は自慢していい。
- ・2年目ではあるがこの仕組みはうまくいっていると思う。この仕組みについて、ご意見があればいただきたい。

(桂木委員)

- ・昨年度は評価委員が3名いたが、当日欠席で評価委員が1名となってしまって、一人で話放題はよかったが、3名くらい委員の声があったほうが良いと思う。
- ・評価基準(0~3)について、0と1の間がひらきすぎていると感じる。評価の幅が広すぎるため改善をお願いしたい。
- ・町の方の発表の中で、個人的な意見もあるが、抽象的な言葉でまとめず発表して欲しかった。

(桂木委員に対する事務局回答)

- ・モニターさん100名には4年に1回は出席して欲しいとしており、1回で25名集まることを目標にしているが、平日に開催ということで事前に参加できる人が今回は少なかった。前日まで受付ますと周知はしており、公募も0であった。周知が足りなかった部分もあった。評価委員会の開催について、土日や夜での開催の方が良いという意見があればいただきたい。
- ・評価基準にしても、昨年からの役場としての初めての試みのため、この意見を踏まえて評価しやすい基準となるように改善をしていきたい。
- ・発表についても、グループワーク、まとめ、発表の仕組みについても昨年度からの初めてのことであり職員も慣れていない部分もあるため、職員も努力していきたい。

(委員長：千頭 聡)

0点、1点の説明についても詳しく書くといいかもしれない。

5 その他

【事務局の主な説明】

- ・本日の意見は、記録書としてまとめ9月末ごろから町長とのヒアリングで協議を行い、10月終わりごろ第2期アクションプランを公表させていただく。

- ・同時に本日の評価委員会結果も併せて公表するため、委員の皆様はご確認いただきたい。
- ・本日の出席者の方には謝礼を支払いさせていただく。
- ・アンケートの実施をお願いしたい。
- ・来年度も開催する評価委員会についても、お知り合い等ありましたら、評価委員会に出席してもらえる方がいたら紹介していただきたい。

閉会

(司会：企画財政課長)

閉会にあたり総務部長よりあいさつ。

総務部長あいさつ（総務部長：高田 順平）

第7次総合計画が令和3年度から始まり今年度で2年目になる。評価委員会、総合計画を使っていくというこの取組みも第2回目ということで皆さんどう感じていますか。個人的には少しずつというよりも、役場の中でだいぶ変わってきたのではないかと実感している。これを続けていくことが我々職員の使命でもあり、後押しをしてくれる評価委員の皆様の方が絶対必要だと思っているので、今後も引き続き町政にご指導、ご鞭撻のほどよろしくをお願いしたい。ありがとうございました。

(司会：企画財政課長)

以上をもって、第2回評価委員会を閉会とする。

ご協力いただき大変ありがとうございました。

来年度の評価委員会へのご出席につきましてもよろしくお願ひいたします。

以上

第2回南知多町総合計画評価委員会

出席者名簿

町職員：49名

評価委員：22名

出欠

出欠

町執行部	町長	石黒 和彦	○
	副町長	中川 昌一	○
	教育長	高橋 篤	○
	総務部長	高田 順平	○
	建設経済部長	滝本 恭史	○
	厚生部長	大岩 幹治	○
	教育部長	鈴木 淳二	○

委員長	日本福祉大学教授	千頭 聡	○
-----	----------	------	---

出欠

事務局	企画財政課長	滝本 功	○
	企画政策係長	奥村 卓矢	○
	企画政策係	山下 公大	○
	〃	松本 聖生	○

行財政マネジメント（4-1～4-4）グループ表

Wグループ

【施策】4-1

出欠

町職員	まちづくり推進室長	山本 剛資	○
	建設課長	山本 剛	○
	産業振興課長	奥川 広康	○
	学校給食センター長	宮地 利佳	○
評価委員	商工会代表	酒井 友之	○
	プラスチック団地代表	宮本 邦彦	○

Xグループ

【施策】4-2

出欠

町職員	総務課長	坂口 増和	○
	環境課長	富田 和彦	○
	健康介護課長	田中 直之	○
	議会事務局長	大久保 美保	○
評価委員	観光協会代表	鈴木 甚八	○
	社会福祉協議会代表	山下 かず代	○

Yグループ

【施策】4-3

出欠

町職員	防災危機管理室長	石黒 俊光	○
	健康子育て室長	相川 和英	○
	学校教育課長	鈴木 和芳	○
	社会教育課長	森 崇史	○
評価委員	愛知県	原 一雄	○
	民生・児童員代表	中村 修見	○

Zグループ

【施策】4-4

出欠

町職員	会計課長	山本 有里	○
	税務課長	内田 純慈	○
	水道課長	坂本 有二	○
	保険年金室長兼住民福祉課長	山下 忠仁	○
評価委員	あいち知多農協代表	大岩 徳夫	○
	金融機関代表	目黒 昭彦	○
	男女共同参画	秦 由岐穂	○

基本施策（1-1～3-7）グループ表

Aグループ 【施策】 1-1, 1-4, 1-6

【評価施策】 1-1 出欠

町職員	児童係長	中村 英樹	○
	総務係長	山下 英将	○
	検査管財係長	保母 公次	○
評価委員	モニター	林 浩子	○
	モニター	岩尾 哲彌	○

Bグループ 【施策】 1-2, 1-3, 1-5

【評価施策】 1-5 出欠

町職員	社会福祉係長	堀之内 浩子	○
	国保年金係長	松本 伸弘	○
	住民税係長	宮地 利式	○
評価委員	モニター	坂下 栄子	○
	モニター	家田 倫子	○

Cグループ 【施策】 1-7, 3-5, 3-6

【評価施策】 1-7 出欠

町職員	社会教育係長	齋藤 桂	○
	人事係長	相川 洋輝	○
	スポーツ係長	滝本 義紀	○
評価委員	モニター	飯田 竜平	欠
	モニター	桂木 恭子	○

Dグループ 【施策】 2-1, 2-2, 2-5

【評価施策】 2-5 出欠

町職員	農政係長	榊原 康広	○
	水産係長	鈴木 誠	○
	都市計画係長	石橋 暁登	○
	環境保全係長	家田 直政	○
評価委員	モニター	木藤 朝光	○
	モニター	坂口 尚子	○

Eグループ 【施策】 2-3, 2-4, 2-6

【評価施策】 2-3 出欠

町職員	財政係長	坂本 圭志	○
	戸籍住民係長	間瀬 桂輔	○
	商工観光係長	田中 達也	○
評価委員	モニター	石橋 伊鶴	○
	モニター	坂野 豊和	欠

Fグループ 【施策】 2-7, 3-4, 3-7

【評価施策】 3-4 出欠

町職員	業務係長	百合草 文哉	○
	道路港湾係長	相川 知久	○
	広報情報係長	吉原 裕人	○
評価委員	モニター	滝本 孝治	○
	モニター	那須 直美	○

Gグループ 【施策】 3-1, 3-2, 3-3

【評価施策】 3-1 出欠

町職員	防災安全係長	戸田 竹彦	○
	空き家対策係長	堤田 健太	○
	徴収係長	片岡 克紀	○
評価委員	モニター	大松 展子	○
	モニター	須賀 萌乃	○